

2017年度 第3四半期 決算説明資料

2018年2月20日



2017年度 第3四半期決算のポイント

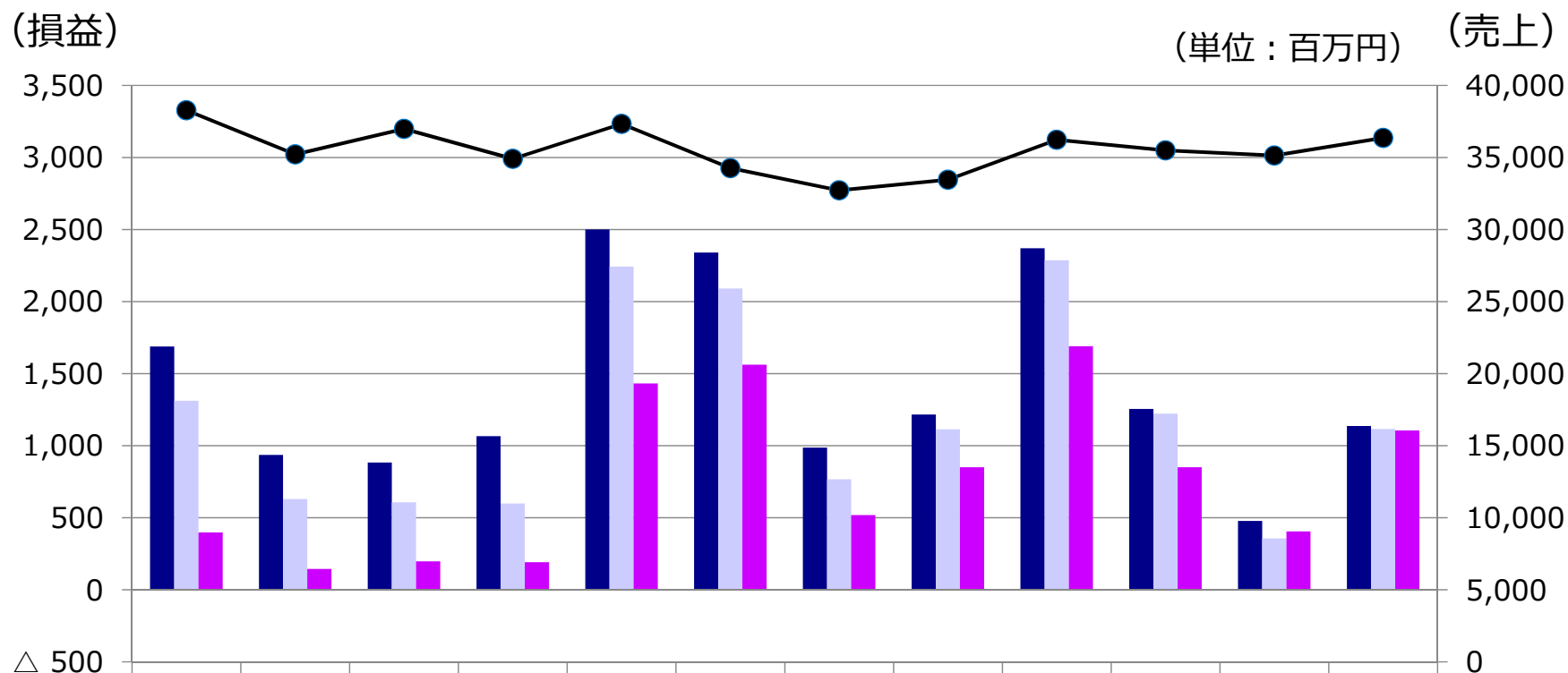
(単位：百万円)

	2016年度 第3四半期		2017年度 第3四半期		増減	
	金額	対前年	金額	対前年	金額	対前年
売上高	100,429	100.0%	106,989	100.0%	6,559	6.5%
営業利益	4,542	4.5%	2,868	2.7%	△1,674	△36.9%
経常利益	3,970	4.0%	2,693	2.5%	△1,277	△32.2%
当期純利益	2,930	2.9%	2,360	2.2%	△570	△19.5%
EPS (円)	113.4		91.26			

《全体感》

- 売上：受注量増加、アルミ地金市況上昇の影響等により増加
- 営業利益：米国、栃木工場での生産性改善の遅れ、価格改定の影響等により減益
- 経常利益：営業利益の減少により減益
- 当期純利益：経常利益の減少により減益も、北米の税効果により減益幅圧縮
- EPS：当期純利益の減少により、22.14円/株減少

連結決算概要（四半期推移）



△ 500

	14年度 4Q	15年度 1Q	15年度 2Q	15年度 3Q	15年度 4Q	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q
■ 営業損益	1,688	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136
■ 経常損益	1,311	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115
■ 当期純損益	398	144	197	191	1,431	1,562	518	850	1,690	850	405	1,105
● 売上高	38,279	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359

ダイカスト事業

(単位：百万円)

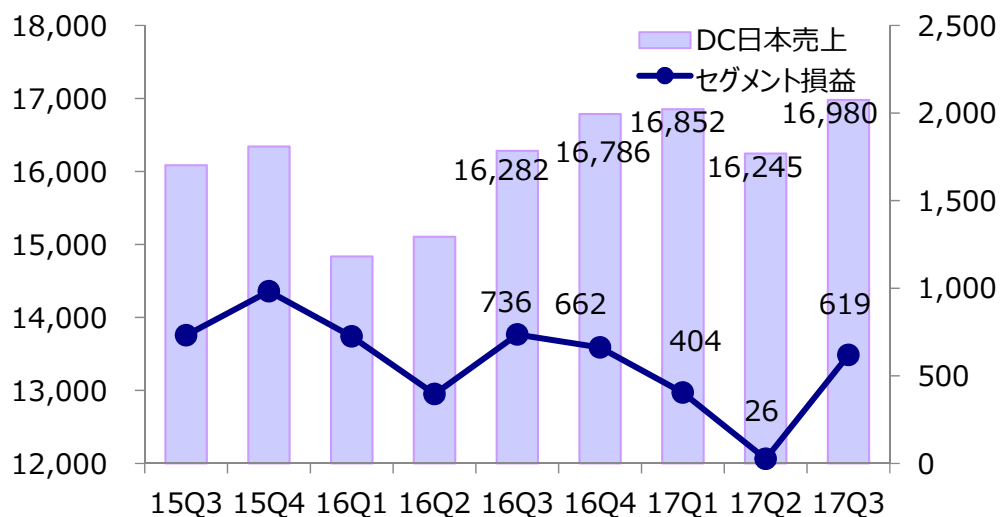
		2016年度 第3四半期		2017年度 第3四半期		増減	
日本	売上高	46,222	100.0%	50,077	100.0%	3,854	8.3%
	セグメント損益	1,857	4.0%	1,049	2.1%	△808	△43.5%
北米	売上高	30,789	100.0%	30,158	100.0%	△630	△2.0%
	セグメント損益	1,531	5.0%	151	0.5%	△1,380	△90.1%
アジア	売上高	18,484	100.0%	21,527	100.0%	3,042	16.5%
	セグメント損益	772	4.2%	1,283	6.0%	511	66.2%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016年度3Q：51.6% ⇒ 2017年度3Q：50.8%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

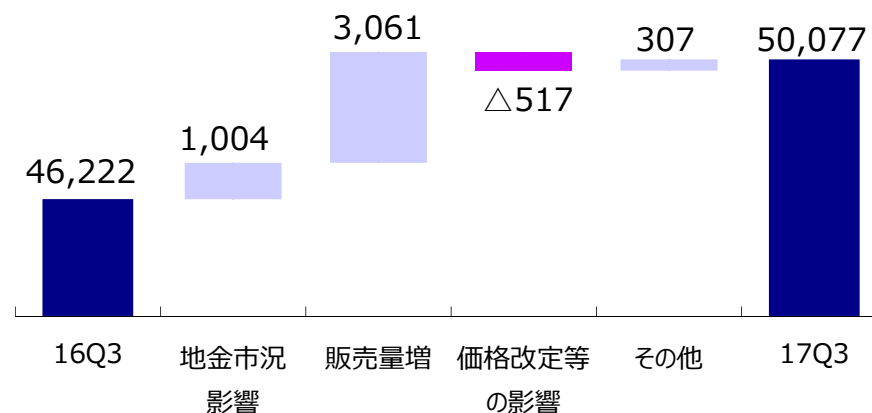
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



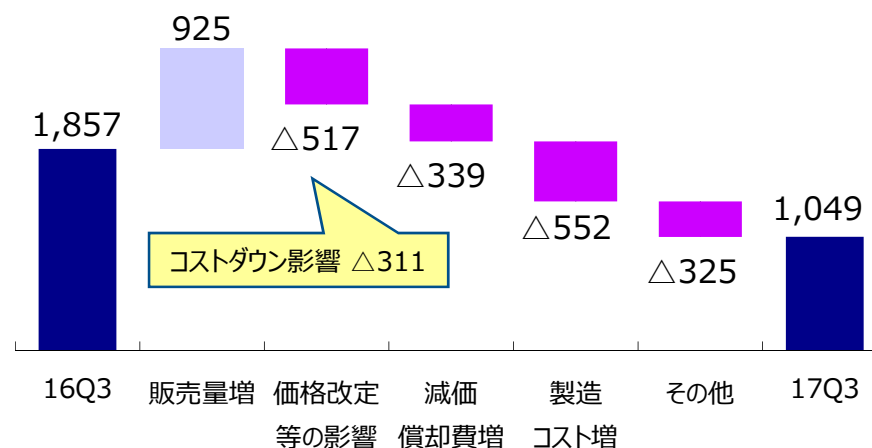
売上：38.5億円増（前期比8.3%増）
 ➤ 主要顧客の輸出が好調で受注量が増加

セグメント損益：8.0億円減（前期比43.5%減）
 ➤ 労務費、燃料費の増加の影響等もあり減益
 ➤ 国内工場の生産性向上により収益は改善中
 ➤ 栃木工場は製造コスト削減のため省人化等推進中

売上高増減要因（単位：百万円）

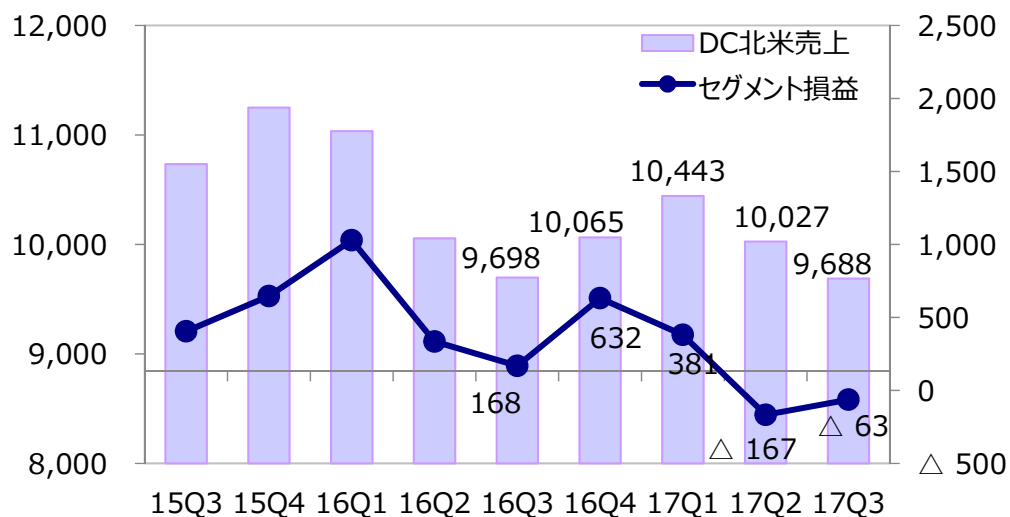


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：6.3億円減（前期比2.0%減）

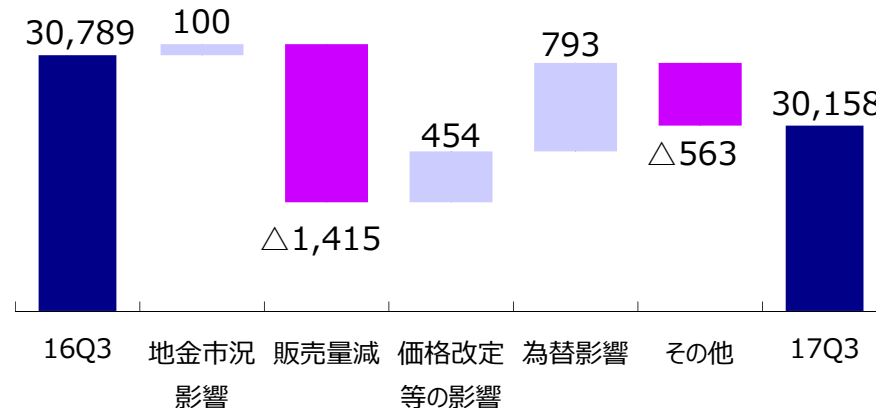
- 米国はダウンサイジング等の影響による受注減
- メキシコでは受注増加傾向

セグメント損益：13.8億円減（前期比90.1%減）

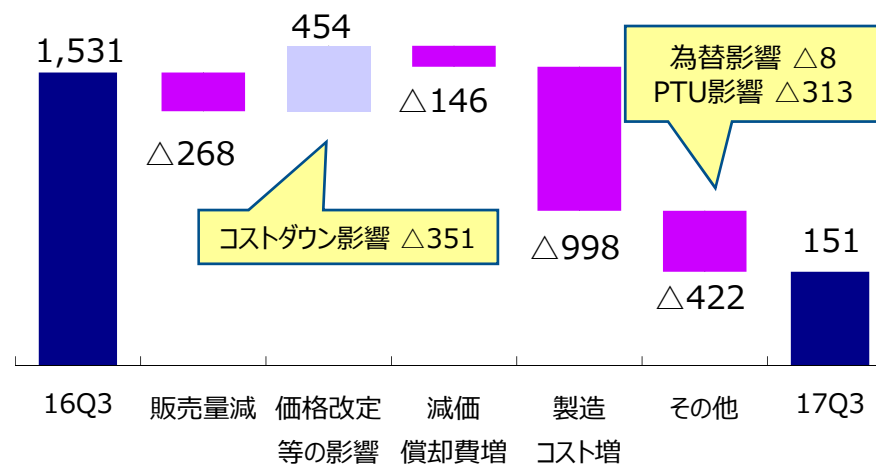
- 米国は売上減少と生産性改善の遅れにより減益
- プロジェクトが1月から始動し、生産性改善の推進中
- メキシコは販売増による増益を燃料費増等が打消し（2017年度1Qより、PTUを営業利益に計上）

決算期:アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート (16Q3⇒17Q3) アメリカ 108.09⇒111.83 メキシコ 110.02⇒112.28

売上高増減要因（単位：百万円）

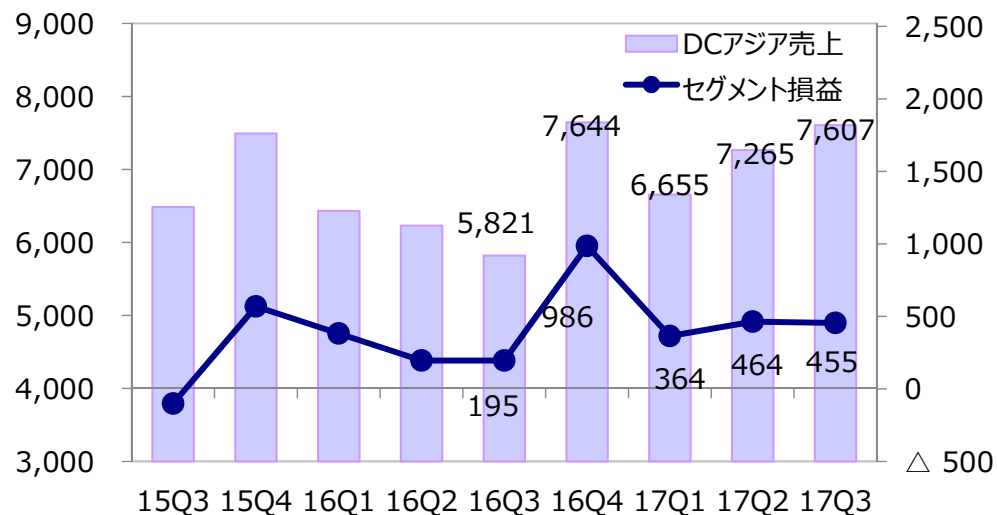


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：30.4億円増（前期比16.5%増）

- 中国はSUV増産等による受注増
- インドも受注増により売上増加

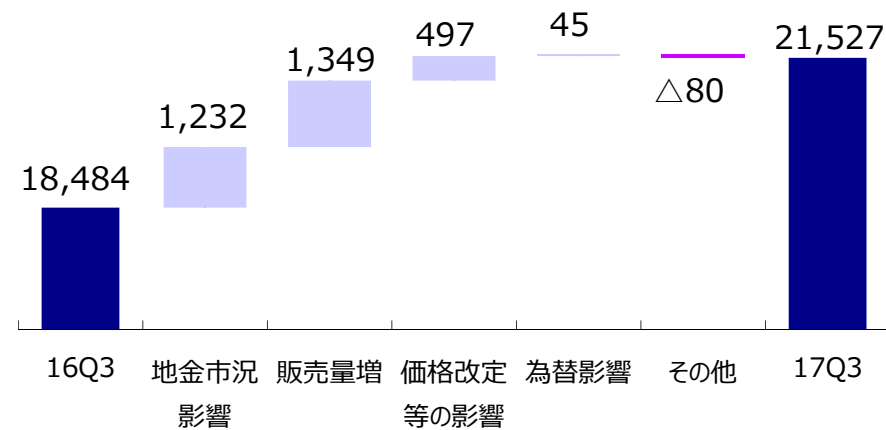
セグメント損益：5.1億円増（前期比66.2%増）

- 中国・インドでの受注増加により増益
- 中国の生産性改善も収益に貢献

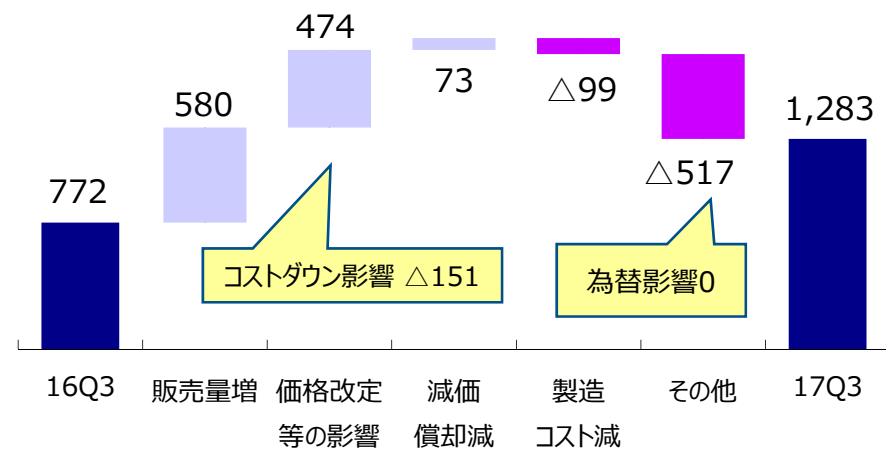
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（16Q3⇒17Q3） 人民元 16.68⇒16.50 インドルピー 1.61⇒1.74

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年度 第3四半期		2017年度 第3四半期		増減	
アルミニウム 事業	売上高	3,222	100.0%	3,432	100.0%	210	6.5%
	セグメント損益	198	6.1%	173	5.0%	△24	△12.5%
完成品事業	売上高	1,710	100.0%	1,792	100.0%	82	4.8%
	セグメント損益	100	5.8%	255	14.2%	155	155.0%

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況変動の影響を受け増収（前期比6.5%増）
- ▶ セグメント損益：燃料費の価格上昇等により減益（前期比12.5%減）

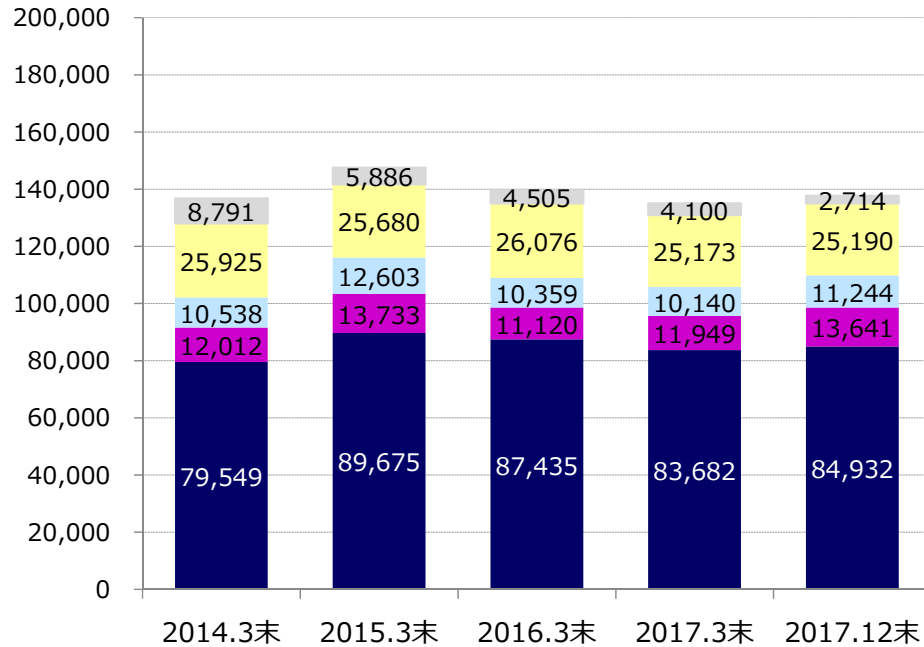
完成品事業

- ▶ 売上：受注の増加により増収（前期比4.8%増）
- ▶ セグメント損益：原価低減活動等により増益（前期比155.0%増）

連結貸借対照表

■ 資産の部

(単位：百万円)



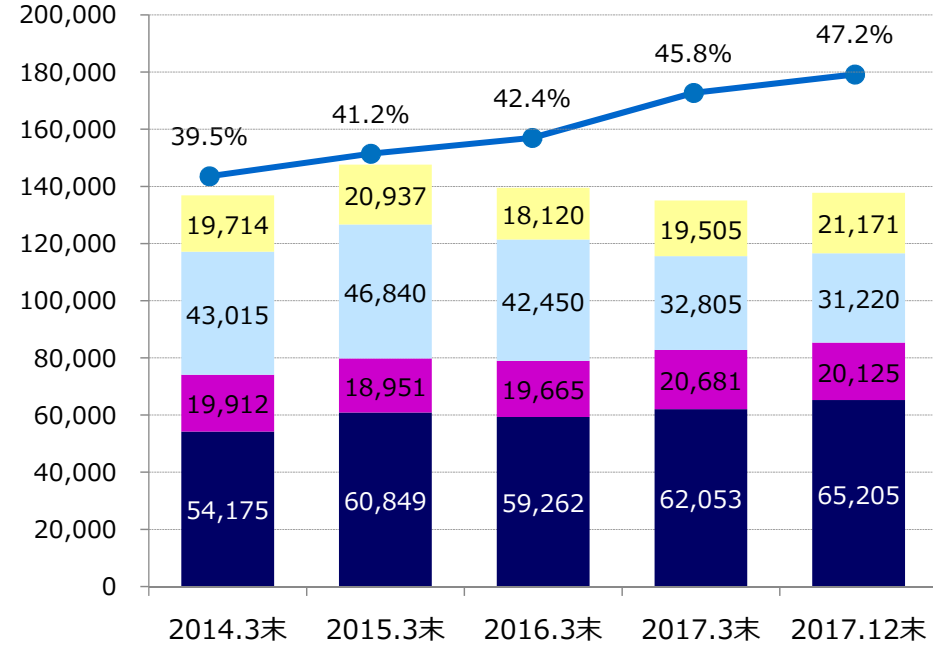
■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 棚卸資産 ■ その他資産 ■ 有形無形固定資産

▶ 2017年3月末からの増減

為替影響：27億円増加⇒純増減：約28億の増加
 流動資産：約6億円純減
 (手持ち現預金の最適化による減少)
 固定資産：約34億円純増
 (中国拠点の設備投資増加、有価証券の評価替え)

■ 負債の部

(単位：百万円)

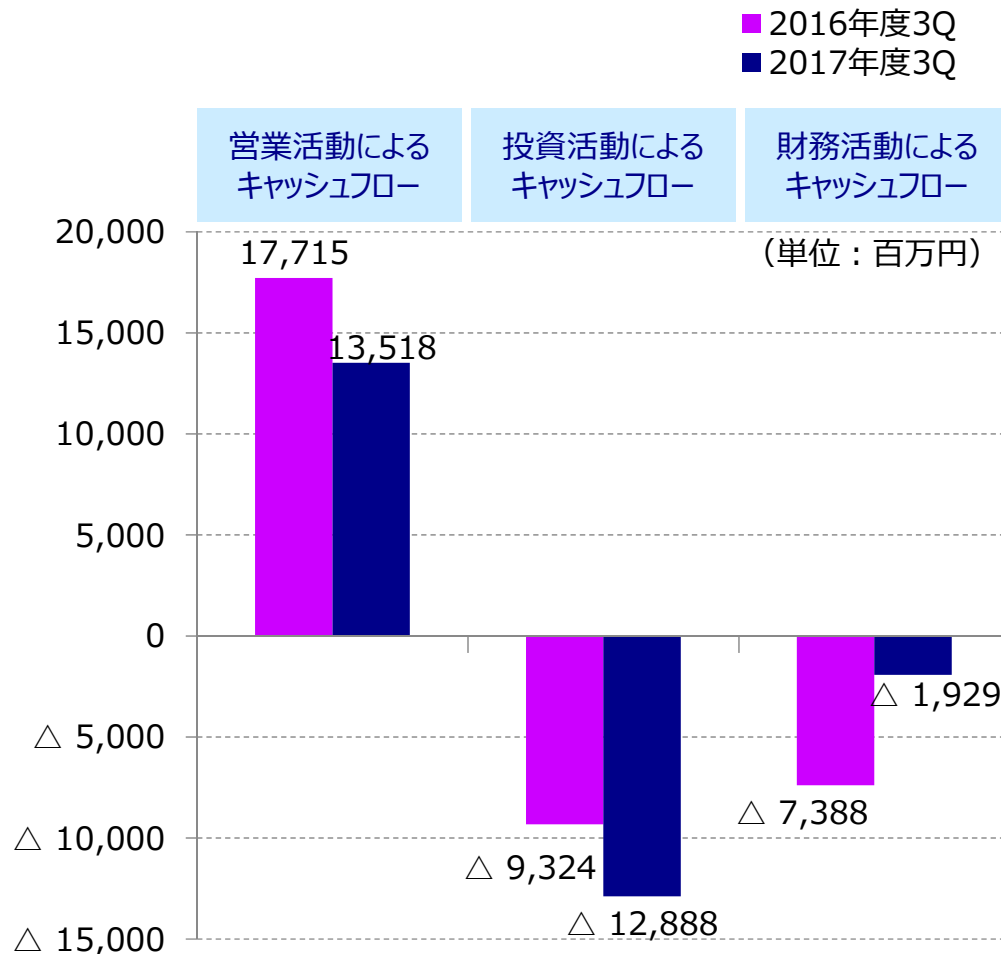


● 自己資本比率
 ■ 仕入債務 ■ 長短借入金 ■ その他負債 ■ 純資産

▶ 2017年3月末からの増減

負債：為替影響：約5億円減少⇒純増減：約2億円の減少
 流動負債で約47億円純増、固定負債で約49億円純減
 (長短有利子負債の減少)
 純資産：当期純利益等により約32億円増加、為替換算調整勘定等により△2億円となり30億円の純増
 自己資本比率：47.2%となり1.4ポイント増加

連結キャッシュ・フロー



17年度3Qキャッシュフロー要因

▶ 営業CF

税金等調整前純利益	26億
減価償却費	111億
棚卸資産の増加 (△)	△ 10億
仕入債務の増加 (+)	16億

▶ 投資CF

アジアの設備投資を中心に増加

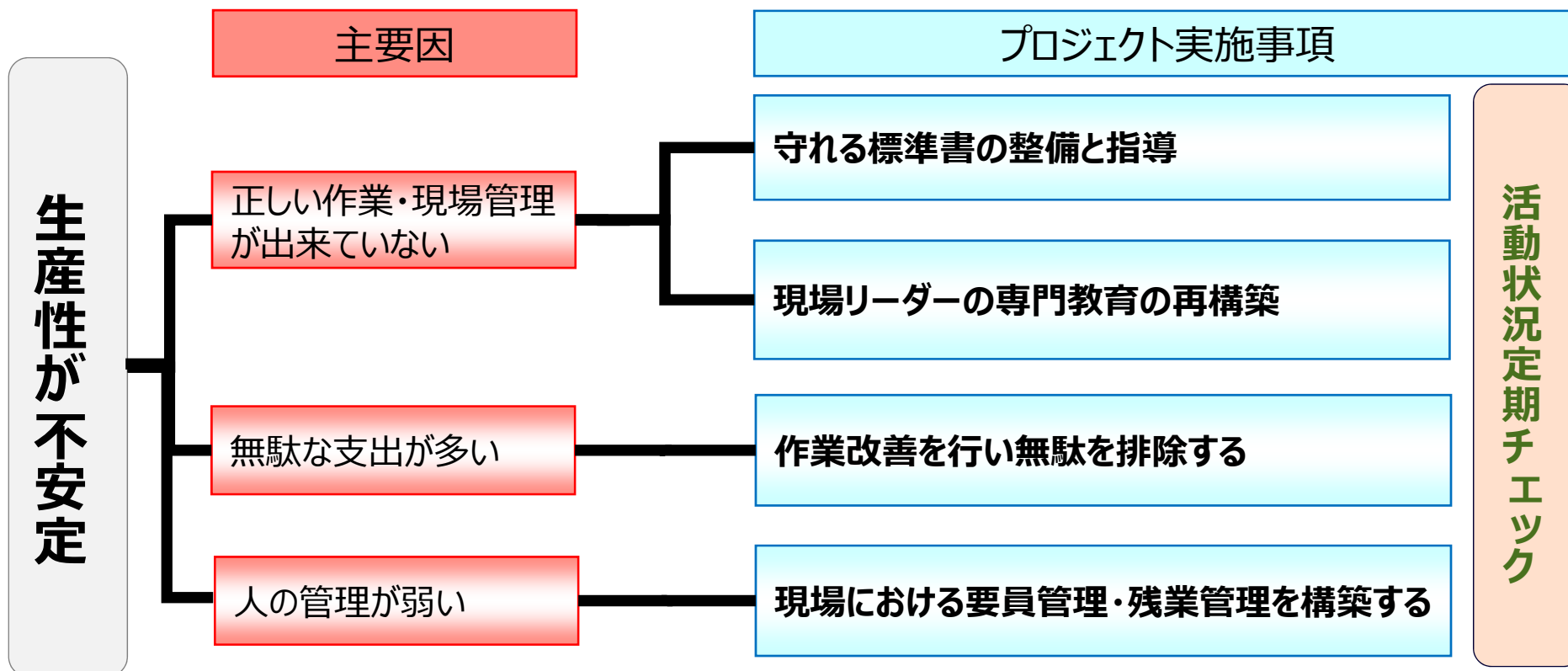
▶ 財務CF

長短借入金の減少
(17/3末 328億 → 17/12末 312億)

米国工場 改善プロジェクト

2014から15年の業績悪化は一旦改善されたが、改善が安定して継続していない。
安定した状態を維持しながら改善活動を行っていくため、改善プロジェクトを2018年1月より始動。

安定した維持管理と改善の両方が重要





Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。